



2022～2023年度国際ロータリーテーマ



イマジン  
ロータリー

UEDA EAST  
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/母袋創一 幹事/関 邦幸 会報委員長/田守正彦

例会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: [uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp](mailto:uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp)

WEEKLY REPORT

MAY.3.2023 特別号

## 敬 弔

故 近藤 正司 様

享年 85 歳

令和5年(2023年)4月21日没



### 〔ロータリー歴〕

1986年(昭和61年)9月17日入会

1994-1995年度 幹事

2006-2007年度 第29代会長

〔職業分類〕 生花小売

## 弔 辞

この度、近藤正司様の突然の訃報に接し、ただただ驚くとともに、大変お世話になった者として、悲しみと無念さを痛感し、衷心よりご霊前に哀悼の誠を捧げます。

近藤様は、穏やかな性格、口数は少ないほう、しかし、いつもニコニコ顔でおられ、私がお店に伺った際も、時折奥から顔を出され、にこやかに迎えていただきましたが、その柔和な表情が目につかびます。生涯生業として近藤商会株式会社、またフラワーショップの株式会社花のマリモを長く営まれてきました。

拙宅でも、生花といったらマリモさんに御厄介になり、お店の皆さんにはいつも親切に対応していただきました。

近藤様は、上田東ロータリークラブに1986年に入会し、仲間とともに社会奉仕活動に精を出された他、親睦と交流を積極的に図り、クラブの維持・発展に尽力していただきました。特に1994-95年度には幹事に、2006-07年度には第29代会長に就かれ、精力的な活動のもと大勢のロータリアンを導いて下さいました。

私は、本年度会長を仰せつかっておりますが、今年45周年を迎えられたのも、近藤様はじめ多くの先達のお陰と感謝いたしております。近藤会長時には、国際交流を図り、能登半島地震被災地への義捐金を募り、また上田公園に樹木名板設置事業、さらには「講談を楽しむ

会」や「座禅体験」と、アイディアに富んだ多彩な企画を実施されました。加えてクラブの継続にも留意し、活発な取組を仕掛けていただきました。

また、海野町商店街振興組合の理事長を務め上げられ、歴史ある商店街の発展のため多大な貢献をされましたが、歳を重ねる中、商店街敬老会のお仲間とマレットゴルフをラウンドすることが何よりの楽しみだったようです。

思うに、故人の友人に選挙に熱心な方がおられたことが影響してか、個人的には、私の亡父そして私と二代に亘り地区の後援会支部長を担っていただきましたが、被選挙人からすれば、安定した支援が得られることが本人の政治活動を左右することから、大変ありがたく感謝に堪えませんでした。

ご遺族にとり、この度のご逝去は、あっけないほどの最期であったと受け止めており、長年連れ添われた洋子様や4人のお子さんたちにとって、悲しみも深いものと察しております。どうぞ一日も早く立ち直っていただくことを願っております。

最後に、いまここに近藤様の在りし日を偲ぶとともに、安らかなご冥福を、そしてご遺族皆様に末永きご加護が垂れ給わんことを祈念し、弔辞といたします。

合掌 上田東ロータリークラブ会長 母袋 創一

## 近藤正司さんを偲んで

蓑輪 佳明

近藤正司さんのご家族とは古くから交流があり、私が平成10年にこのクラブに入会させていただいたとき、近藤さんがいらっしゃって、心が和み出席に精を出しました。当時、私にとって親子ほど年の離れた会員が多い中『けいちゃん（佐藤圭司元会員）』などと呼び合っていて、若輩の私にも、いつかはそんな呼び方ができる人と知り合えるかと憧れてました。

2006-07年度の会長予定者に近藤さんがなられたとき、「僕が会長をお受けすることになった時は、以前か

ら女房と蓑輪君に幹事をお願いするよう決めていたからよろしく頼むよ」と言われました。私にとっては光栄なお言葉を頂き、とても嬉しく思いました。

「役員・理事の人事から事業計画までを君に任せるから頼むね」とおしゃってくださり、さすが大所の旦那様だと心打たれました。

近藤さんのお宅は、昭和の時代は上田丸子電鉄東駅から引込み線で石炭を満載した貨車が近藤さんの会社の敷地まで運ばれ、その石炭を業務用から個人用まで販売していた近藤石炭商会在生業でした。

近藤さんとの交わりは、かれこれ40年に及びました。長年のご厚誼に感謝し心からご冥福をお祈りいたします。



会長挨拶をする近藤さん（2007年6月）



高岡西RCを訪問、武将姿（中央）が近藤さん（2006年11月）



IM（ホスト）で乾杯のご発声（2007年2月）



クリスマス会で洋子夫人と（2010年12月）



クリスマス会でご家族と（2019年12月）



年男を迎えたお誕生日に蓑輪さんと（2022年1月）

### 近藤正司さん 会長挨拶の言葉より

#### — 2006年12月13日 第1384回例会 —

（前略）12月9日（土）午後6時より、香青軒3Fゴールデンホールにて2006年度社団法人上田青年会議所の年忘れの宴が開催されました。初めは蓑輪幹事に出席していただく予定でいました。「今年度息子が卒業だよ」と申しましたら、めったにない事なので、他の行事は代理出席してもよいが今回ばかりは私にとの事で行ってまいりました。当クラブ第16代川上喜男会長がやはりその年度にご息さんが卒業なので出席したとのお話を聞き、似たようなことがあるものだと感心しました。16年間の在籍中、彼のみならず家族にとりましていろいろな体験をさせて頂きました。JCでの体験を生かした人生を送ってくれる事と信じております。同席したOBの方々より、倅についていろいろとお話を承りました。リップサービスもあるにしろ、なぜか彼等のお話を素直に受け入れる事ができました。親馬鹿を笑ってやって下さい。（後略）

#### — 2006年12月6日 第1383回例会 —

月日の経つのは早いものです。会長をつとめさせて頂き5ヶ月が過ぎました。本日は年次総会です。（中略）

来週はクリスマス家族会です。多くの方々のご参加をお待ちしています。初心にかえりサマーナイトを迎える積もりで努めさせて頂きます。と申しますのは、徒然草の一節を思い出したからです。『木のぼりの名人と定評のあった男が人のさしずをして高い木にのぼらせ、梢を切らせたのに、非常に危険そうに思われたあいだは何も言わないでいて、おりるとき軒端ぐらいの高さになってから「怪我をするな、気を付けておりよ」と言葉をかけたので、「これぐらいなら、飛びおりてもおりられましように、どういて注意しますか」と言ったところが、「そこがですよ。目のまうような、枝の危ないほどのところでは、自分が恐ろしがつて用心していますから申しません。過失は、なんでもないところで、きつとしかずものですよ」と言った…。』のくだりです。聖人の訓戒にも合致していると思います。